

刈谷市の『国際交流・多文化共生』かわら版

Vol.11 / FREE

KARIYA GLOCAL LETTER

『第２次刈谷市多文化共生推進計画』重点協働プロジェクトの取り組みを報告する広報紙

Welcome!

【モデル地区からの多文化交流プロジェクト】

一ツ木町（ひとつぎちょう）に、多文化交流の畑（たぶんかこうりゅうのはたけ）『ワールド・スマイル・ガーデン（ワールデン）』があるのを、知（し）っていますか？全国から視察（ぜんこくからしさつ）があり、TVで何度も紹介（てれびでなんどもしょうかい）されるなど、刈谷市の誇（かりやしのほこ）りです！

● 一ツ木町にあるワールデンは、今や全国区！総務省の多文化共生事例集にも紹介されるほど、その界隈ではとっても有名な場所になっています。一方で、刈谷市民の 6.2％しか、ワールデンを知らないというアンケート結果があります。だから、もっと地元の市民にも、ワールデンのことを知ってほしい！国籍を超えて出会いや交流ができるし、ぜひ活動に参加してほしい！そんな想いで、ワールデンのことを紹介します。



畑作りを通して国際交流を進める「ワールド・スマイル・ガーデン」を知っている刈谷市民の割合

6.2%

2022 年 11 月刈谷市調査

ワールデンとは？　～多様な人たちが集い楽しむ場（畑）～

● 日本人でも外国人でも、若者でも高齢者でも、家族連れでも仲間同士でも、一人でも、刈谷市民でも周辺の方でも、この地域に住む人たちが、主に野菜づくりを通して、出会い、共に作業し、知り合うことのできる交流の場です。

● 月に1～2日、定期作業日を設けて、土づくり、種まき、収穫などの野菜づくりを主に行っています。レモンなどの果樹、きれいな花も育てています。



● 作業終了後には、外国人の参加者が母国の紹介をしたり、各国料理を持ち寄って一緒に食べたり、収穫した野菜等をみんなで分け合ったりしています。

● 近年は、地元の中学生が毎回参加したり、外国人の子どもが参加したり、多様な世代・国籍の方が直接会える場になっています。





● **Facebook** で、定期作業日のお知らせや活動の様子（写真や動画）、あるいは野菜を使った外国の料理紹介など、日本語、英語で発信をしています。

ワールデン **Facebook** ページ **QR**























※「**GLOCAL**」は、GLOBAL（世界的）と LOCAL（地域的）を合わせた造語で、「地域における国際化・多文化共生」、「グローバルに考え・地域で行動」という意味が込められています。

データから見るワールデン（集まり編）

1年間の延べ参加者数

574 人

2024 年度実績／1 回平均 **34** 人

うち外国人延べ参加者数

351 人



2024 年度実績／全体の **39%**

参加した国籍数・国名

25 カ国



2022-24 年度 3 年間実績（多数順）

日本、ベトナム、中国、フィリピン、インドネシア、アメリカ、ブラジル、台湾、カンボジア、バングラデッシュ、タイ、韓国、キルギス、トンガ、ボツワナ、エルサルバドル、ソロモン諸島、チュニジア、ドイツ、インド、マラウイ、トルコ、香港、リベリア、モンゴル

文化紹介した国数・国名

14 カ国　2020-24 年度 5 年間実績

日本、中国、フィリピン、アメリカ、台湾、バングラデシュ、キルギス、トンガ、カンボジア、ブラジル、ベトナム、インドネシア、タイ、ブータン

データから見るワールデン（広がり編）

テレビ放映の回数

7 回　2018-2025 年

【NHK】まるっと 3 回
（うち 1 回 生放送）
【KATCH】キャッチタイム 3 回
地域の庭 1 回

雑誌・書籍の掲載回数

3 回　2021-2025 年

総務省「多文化共生事例集」2021
地域活性化センター「地域づくり」2024
ボラみみ情報局「ボラみみ」2025

全国からの視察回数

27 回　2022-2025 年

大学･学校（学生等）：**18** 回
自治体･コミュニティ等：**10** 回
※東京、鹿児島、高知、兵庫、静岡からも

ワールデンから波及したコミュニティガーデン数

3 団体　2025 年現在

知立市：もやいこ農園
豊田市：HOMI わいわい農園
刈谷市：輪～るど･ビレッジ小垣江

育てた野菜の種類　17 種　2025 年

ジャガイモ、ミニトマト、ナス、ピーマン、人参、玉葱、万願寺唐辛子、カリモリ、キュウリ、里芋、落花生、パパイヤ、ローゼル、キャベツ、ハラペーニョ、さつまいも、ダイコン



ワールデンをリードする代表及川さんからのメッセージ、Q＆A



● 2017 年から活動に参加し、2022 年から会長を務めています。家庭菜園歴は 15 年以上になりますが、今でも日々土に触れながら、新しい発見を楽しんでいます！「みんなが主役になれる庭」を目指して、笑顔の輪を広げている真っ最中です。

Q1 ワールド･スマイル･ガーデン一ツ木（ワールデン）ってどんなところ？

交流に興味のある方、“農“を体験してみたい方、みんなでワイワイと楽しみたい方、ボランティアに携わりたい方が、野菜づくりを 共通言語に、土に触れ、汗を流しながら誰もがいつでも自由に参加ができる、みなさんにとっての「サード･プレイス」となるところです。

Q2 今困っていることは？

10 年以上続く中で、地縁ベースで始まった活動が、今は共感して集まる「志の仲間（知縁）」へと広がり、新しいエンジンになっています。一方で、一ツ木町で種から育てた場所なので、地縁（一ツ木町住民）の仲間もさらに増えてほしいと願っています。

Q3 ワールデンの未来への希望は？

発足から 10 年以上、交流の根を紡いでくれたすべての人に感謝いたします。これからも多様性を認め合い、「参加するみんなの笑顔が実る庭」としてこの場所を守り、こうした場所が全国に広がっていくよう発信を続けていきたいです。

Q4 ワールデンの活動については？

ワールデンは月 1 回、日曜日に開催しています。年間の予定はワールデンの Facebook をご確認いただくか、刈谷市役所市民協働課までお問合せください（最下段に連絡先を記載）。皆様にお会いできるのを、メンバー一同楽しみにしています。

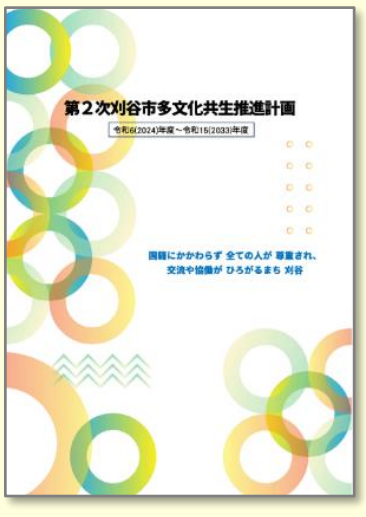
刈谷市役所とワールデンとの関わり　～行政計画に位置づけられたプロジェクト～

● ワールデンの活動は、『第2次刈谷市多文化共生推進計画』の重点協働プロジェクトに位置づけられています。

● ワールデンは、2014 年の設立当初から、市役所は、（公財）愛知県国際交流協会の支援も受けて、一ツ木地区の協力のもと実現してきたものです。現在は、地域団体「ワールド･スマイル･ガーデン一ツ木」が主体的･自主的に活動し、付かず離れずの距離で市役所は見守っています。

● また、ワールデンのようなモデル地区からの多文化交流を、市内に広めるために、2025 年度現在外国人が最も多い小垣江地区へ横展開を図っています。

刈谷市 市民協働課
多文化交流施策紹介
ウェブサイト QR



輪～るど･ビレッジ小垣江（ワビオ）　※ KARIYA GLOCAL LETTER　Vol.9,10 参照（上掲 QR）

● 小垣江地区住民有志が集い、10 年後に次のような地域になることをめざして、試行錯誤しながら活動を続けています。一緒に活動する人を募集中！

（あいさつ）　① 誰とでも気軽にあいさつしているまち
（地域活動）　② 地区活動に外国人が参加するのが当たり前になっているまち
（交流場所）　③ 誰もが安心して交流できる居場所があり、国籍に関係なくみんなが気軽に逢えるまち
（情報共有）　④ 誰にもやさしい案内表示で情報が届くまち
（情報発信）　⑤ SNSの活用で小垣江の活動を世界に発信するまち





発行：刈谷市　〒448-8501 刈谷市役所　市民協働課　TEL：0566-95-0002　FAX：0566-27-9652
E-mail：kyodo@city.kariya.lg.jp　編集協力：NPO 法人 NIED･国際理解教育センター

詳しい情報はこちら　刈谷市 国際交流･多文化共生　検索